

## NY マーケットレポート (2016年9月9日)

NY 市場のドル/円は上昇しました。米連邦準備理事会 (FRB) 高官らの発言を受け、早期の利上げ観測が強まりました。特にボストン地区連銀のローゼングレン総裁は、米経済が完全雇用の状況にある中で、緩やかな利上げが適切としたほか、低金利は景気過熱のリスクを増大させるとの認識を示しました。ローゼングレン総裁はハト派として知られていますが、このところは年内の利上げ実施に確信を深めつつあるようです。

またブレイナード FRB 理事が 9 月 20-21 日の FOMC に向けたブラックアウト期間が始まる前日のタイミングである 12 日に講演を行う予定で、FRB のハト派を代表するブレイナード氏が FRB は利上げに近づいているとのメッセージを発するとの見方が浮上しました。連邦公開市場委員会 (FOMC) 内で利上げへのコンセンサスが形成された可能性を示唆すると受け止められドル上昇につながりました。

### 2016年9月9日 (金)

海外	高値	安値	終値
USD/JPY	103.06	102.11	102.69
EUR/JPY	115.94	115.09	115.28
GBP/JPY	137.15	135.78	136.29
AUD/JPY	78.12	77.42	77.50
EUR/USD	1.1279	1.1198	1.1226

東京	高値	安値
USD/JPY	102.50	101.98
EUR/JPY	115.42	115.02
GBP/JPY	136.32	135.77
AUD/JPY	78.34	77.77
EUR/USD	1.1286	1.1259

\* 東京時間は5p.m.まで

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	16,965.76	+6.99
ハンセン指数	24,099.70	+180.36
上海総合	3,078.85	-17.10
韓国総合指数	2,037.87	-25.86
豪ASX200	5,339.18	-46.57
インドSENSEX指数	28,797.25	-248.03
シンガポールST指数	2,873.33	-21.15

欧米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	18,085.45	-394.46
S&P500	2,127.81	-53.49
NASDAQ	5,125.91	-133.57
英FT100	6,776.95	-81.75
独DAX	10,573.44	-101.85
日経225 (CME)	16,735.00	-220.00
ボベスバ指数	57,999.73	-2,231.93

### 9/12 経済指標スケジュール

8:50 【日本】7月 機械受注(前月比)(前回: 8.3%)  
 8:50 【日本】7月 機械受注(前年比)(前回:-0.3%)  
 8:50 【日本】8月 国内企業物価指数(前月比)(前回:0.0%)  
 8:50 【日本】8月 国内企業物価指数(前年比)(前回:-3.9%)  
 15:00 【日本】8月 工作機械受注(前年比)-8月(前回:-19.7%)

商品市場	終値	前日比
NY GOLD	1334.50	-7.10
NY 原油	45.88	-1.74
CME コーン	341.00	+2.50
CBOT 大豆	980.25	+3.50

欧米債券市場	本日	前日
独連邦10年債	0.011%	-0.062%
英国10年債	0.859%	0.758%
米2年債	0.770%	0.782%
米5年債	1.223%	1.177%
米10年債	1.675%	1.599%

### 9/12 主要会議・講演・その他予定

21:05 ロックハート・アトランタ連銀総裁講演  
 13日 2:00 カシュカリ・ミネアポリス地区連銀総裁 講演  
 2:15 ブレイナード・FRB理事 講演  
 米財務省3年・10年債入札

出所: SBILM

## NY 市場レポート

19:27

◆《主要ニュース》

## 日銀、マイナス金利は効果の方が大きいと検証をまとめる方向-共同

日銀は今月下旬の金融政策決定会合で行う緩和策の総括的検証で、マイナス金利の政策効果が金融機関の収益悪化など副作用より大きいとの結果をまとめる方向で調整に入った。日銀は検証結果を踏まえ、2%の物価上昇目標の早期達成に向けた追加緩和策としてマイナス幅拡大を軸に検討する。

21:15

### ◆<<要人発言>>

ローゼングレン・ボストン連銀総裁

- ・「緩やかな引き締めを正当化する妥当な論拠はある」
- ・「完全雇用を確実にするには緩やかな引き締めが必要」
- ・「引き締め見送り、過剰な長期化はリスクに」

米ボストン地区連銀のローゼングレン総裁は9日、連邦準備理事会(FRB)が利上げを待ち過ぎることのリスクが大きくなりつつあるなか、段階的な金融引き締めが適切となる公算が大きいとの考えを示した。ローゼングレン総裁はハト派として知られているが、このところは年内の利上げ実施に確信を深めつつある。

ローゼングレン総裁は今年の連邦公開市場委員会(FOMC)の投票権を持つメンバー。

21:30

### ◆<< 経済指標の結果 >>

カナダ 8月 雇用ネット変化率 26.2千人 (前回:-31.2千人・予想: 14.0千人)

カナダ 8月 失業率 7.0% (前回:6.9%・予想: 7.0%)

カナダ 8月 労働参加率 65.5% (前回:65.4%)

22:00

### ◆<< 経済指標の結果 >>

メキシコ 7月 鉱工業生産(季調済/前月比) 0.3% (前回:0.1%・予想:0.2%)

メキシコ 7月 鉱工業生産(季調前/前年比) -1.0% (前回:0.6%⇒0.5%・予想:-0.2%)

23:00

### ◆<< 経済指標の結果 >>

米国 7月 卸売在庫(前月比) 0.0% (前回:0.0%・予想:0.1%)

米国 7月 卸売売上高(前月比) -0.4% (前回:1.9%⇒1.7%・予想:0.2%)

23:17

### ◆<<要人発言>>

タルーロ FRB 理事

- ・「低金利リスクへの回答は必ずしも引き上げではない」
- ・「年内利上げの可能性を排除しないつもりだ」
- ・「米国のインフレ率が、FRBが目標とする2%に向け上昇していることを示す、より多くの証拠を見極めたい」

23:50

### ◆<<要人発言>>

ダラス連銀・カブラン総裁

- ・「米経済が過熱しているとは思わない」
- ・「利上げの軌道は非常に浅く平たんに」
- ・「現在の低水準の金利には代償がある」
- ・「ここ数カ月で利上げシナリオは強まった」

◀外国為替市場▶

ニューヨーク外国為替市場ではドルが3日続伸。一方、南アフリカやブラジル、メキシコなど新興市場国の通貨が下落した。多くの米金融当局者が利上げの可能性が残っているとあらためて示唆したことが市場に認識され、今月の米連邦公開市場委員会 (FOMC) 会合での利上げ観測が再浮上した。商品相場が5日ぶりに上げ止まったことを嫌気し、豪ドルやノルウェー・クローネを含む高利回り通貨も下落した。キャリートレード取引を巻き戻す動きが出た模様。



出所：NetDania

◀欧州株式市場▶

欧州株式市場は下落した。ロンドンのFT100 指数終値は前日比 81.75 ポイント安の 6776.95。フランクフルトのDAX 指数は 101.85 ポイント安の 1万 0573.44。前日の欧州中央銀行の追加緩和見送りが引き続き嫌気されて売りが先行、米国の早期利上げ観測を背景にダウが下げたことで一段安となった。



出所：Bloomberg

◀ NY 金市場 ▶

NYの金先物相場は3日続落し、取引の中心となる12月渡しが前日比7.10ドル安の1オンス=1334.50ドルで取引を終えた。ハト派で知られるボストン連邦準備銀行のローゼングレン総裁が講演で、緩やかな利上げが適切との見方を示したことをきっかけに米国の早期利上げ観測が強まり、金を手放す動きが加速した。外国為替市場でドルが主要通貨に対して上昇したことも、ドルの代替資産とされる金の売りを促した。



出所：Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

WTI先物10月限は前日比1.74ドル(3.65%)安い1バレル=45.88ドルで終了。8月1日以来で最大の値下がりとなった。発表された先週の米在庫が17年ぶりの大幅減少となったのは、熱帯暴風雨のための輸入と海底油田での生産に障害が生じたためであり、影響は一時的なものとの見方が広がった。合わせて株安とドル高も売りを誘い、週間での上げ幅は3.2%に縮小した。



出所：Bloomberg

## 《米株式市場》

9日の米国株式相場は大幅続落。ダウ工業株30種平均は前日比394.46ドル(2.1%)下げて18085.45ドルで引けた。英国の欧州連合(EU)離脱が決まって以降で最大の下げとなった。

ボストン連銀のローゼングレン総裁は利上げを長く待ち過ぎれば米経済が過熱する恐れがあり、金融安定についてリスクになりかねないと警鐘を鳴らし、利上げに前向きな姿勢を示した。FOMCのハト派メンバーが利上げを支持し始めていることで、市場参加者が米利上げに対して不安になっているとの見方が出ている。



出所：Bloomberg

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。